

令和 4 年度 小林市立永久津中学校 学校関係者評価書

4 段階評価 4 期待以上 3 ほぼ期待どおり 2 やや期待を下回る 1 改善を要する

学校経営ビジョン	夢や目標をもち、主体的に学ぶ、粘り強い生徒の育成。
----------	---------------------------

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	結果の考察・分析 (○) および改善策等 (◇)	自己評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント
知 育	主体的な学びによる徹底した学力の向上 手段： 1 キャリア教育の視点を生かした教育活動を展開し、夢や目標をもたせる。 2 小学校と連携し一貫性のある学力向上を推進するとともに、一人1回以上の研究授業（タブレットを活用）の実施で授業改善を推進する。 3 小テストの実施と個別指導の徹底により、基礎的・基本的学習内容の徹底した定着を推進する。 4 英検・漢検受験率50%以上、3級以上合格50%以上を目指し、検定受験を推進する。	1について ○ 学年が上がるに伴い進路意識が高くなる傾向にある。 1年生の保護者は、子どもの進路意識が低いと感じている。 ○ コロナ禍ではあったが、多くの体験学習を通して、進路への意識を高めることができた。 ○ 体験学習に向けて、事前学習・事後学習を計画的に実施することで、体験学習への目標や振り返りができた。 ◇ 1年生時より、保護者へのインタビューなどを通して、職業観などを育むようにする。また、ネット上のコンテンツを積極的に活用する。	3.5	3.5	○私も中学校の早い段階で、子どもの将来のこと、何がやりたいかなどを、真剣に子どもと話し合うべきだったと反省しています。子どもが中学生になると話す機会が少なくなりがちになりますが、進路への意識を高めることは大切だと思いますので、積極的に学校・家庭で取り組んで欲しいです。 ○進路への意識を高めつつ、学力を身につけて欲しいと思います。 ○学習に対する意欲が、個々で差があるように思います。個に応じた対策をお願いしたいと思います。 ○これからの子どもたちは、ICTの活用無しでは考えられない時代となり、積極的に取り扱わせることが大切だと思います。 ○英検、漢検受験は、目標以上の数値が出て評価できます。 ○多くの体験学習が実施できたことはよかったですと思います。より発展的な学習につなげるために、生産・収穫の体験だけではなく、販売にもつなげられるといいと思います。販売を通して、地域とのつながりも出てくるのではないかと思います。
	2について ○ 積極的な ICT の活用により、より効果的な学習が可能となった。 ◇ 効果的な ICT の活用の仕方等について、さらに研修を深める必要がある。				
	3について ○ 校内でのテスト、対外テストの結果を分析し、補充的な指導や個別指導を行った。対外テストの結果もおおむね良好であった。 ○ 欠席等で授業が受けられない生徒に、オンラインで授業を配信することができた。また、遅れた生徒に対して、ICT を利用した補充学習を行うことができた。 ◇ 家庭学習は、個に応じた学習の方法を検討するとともに、タブレットの活用を積極的に行う。				
	4について ○ 英検受験率60%、漢検受験率90%、3級以上の合格者も昨年度を大きく超えることができた。 ◇ 検定受験を継続推進する。				

<p style="text-align: center;">徳 育</p>	<p>重点目標： 道徳科を要として、心の教育の充実</p> <p>手段： 1 語先後礼による自発的あいさつを教師、生徒で校内・校外において完全実施。 2 道徳科を要として「思いやり」の心を育み、いじめ〇、新たな不登校〇を目指す。 3 スマートフォンやタブレットの取扱いについて定期的に情報収集、保護者への啓発を行うことでネット上のトラブル〇を目指す。</p>	<p>1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 校内では、立ち止まり挨拶が定着しつつあるが、全体的に声が小さいと感じる。また、地域での挨拶は課題が残る。 ◇ その場での常時指導を継続していく。 ◇ 定期的な挨拶運動の実施（生徒会や専門委員会主導の取組を推進する。）、また、地域での活動等で機会を増やす。 <p>2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月実施している「いじめに関するアンケート」では、いじめ等のトラブルは確認できなかった。 ○ 不登校については、関係機関と連携して定期的な訪問を行った。 ○ 毎週、計画的に道徳の授業を実施することができた。 ◇ 常時指導を継続していく。 ◇ 不登校については、諸機関の協力も積極的にお願ひしながら解決を図る。（卒業生の卒業後の対応を含む） <p>3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎月実施している「いじめに関するアンケート」では、ネット上のトラブルは確認できなかった。 ○ 参観日に保護者・生徒を対象としたネット上の危険性についての講話を実施するとともに、家庭でのルール作りや啓発活動に取り組んだ。 ◇ 取り扱いについては、生徒と保護者の認識に大きなずれが生じている。次年度も校内での研修機会を増やすとともに家庭との連携・啓発に努める。 	3.2	3.2	<p>○挨拶はできていると思います。</p> <p>○不登校が気になりますが、学校としても難しい問題と思います。それ以上に家庭は悩んでいることと思います。</p> <p>○不登校生徒に対しても、熱心に取り組んでいただいているが、可能な限り不登校〇を目指していただきたいと思います。</p> <p>○いじめトラブルはなかったということで、良かったと思います。学校・家庭で、子どもをよく観察することが大事だと思います。</p>
<p style="text-align: center;">体 育</p>	<p>重点目標： 健康・安全教育、体力・競技力の向上</p> <p>手段： 1 体力向上プランを基に体育的行事や部活動の指導の充実を図り、体力向上、競技力の向上を目指す。 2 授業開始・終了時の立腰指導を徹底し、定着100%を目指す。また、虫歯治療の徹底を図る。</p>	<p>1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 毎回、体育の授業の最初に体力の要素を高めるためのトレーニングを実施できた。また、部活動でも体力や技能の向上を考えて活動できた。 ◇ 来年度も継続して個に応じた体力向上プランを立て、実践させる。 ◇ 保健体育の授業以外で生徒会や保体委員会、部活動と連携した体力の向上や競技力の向上に努める。 <p>2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 立腰については、各授業の始めや終わり、集会等で行っている。継続指導が必要である。 ○ 治療勧告や個別指導を実施しているが、治療率100%が達成できない。 ◇ 来年度も集団指導や個別指導、家庭との連携を通して、虫歯治療率100%をめざす。 	3.3	3.4	<p>○全体的に体力に関する成績が良いと思います。</p> <p>○授業は、もちろんの事、部活動や市マラソン大会など熱心に参加していただいております。競技力の向上に加え、社会性の向上にも取り組んでいただいております。</p> <p>○生徒数の減少で、チーム競技の部活動の維持が難しいというのは以前から危機感はありましたが、もう切羽詰まっている感じがしました。</p> <p>○虫歯治療は、「家庭での取組」という環境づくりが大事だと思います。</p>

食育	<p>重点目標： 健康な身体づくりのための「食」に対する意識高揚と実践力の向上。</p> <p>手段： 1 残食0を基本とした給食指導の充実及び朝食の重要性を啓発することで朝食0を目指す。 2 「弁当の日」の発達段階に応じた具体的な到達目標の設定と家庭への啓発により確実な実践（年4回）を目指す。</p>	<p>1について ○ 定期的に食育だより（通信）を発行し、食に関して啓発できた。さらに、給食センターや外部講師と連携して、食に関する学習を実施することができた。 ◇ 来年度も外部講師と連携して、食育を推進する。 ◇ 食に関する情報の提供を家庭や地域に向けて発信していく。</p> <p>2について ○ 年間4回の弁当の日を主体的、計画的に指導、実施できた。しかし、取組には、生徒と保護者の認識に大きなずれが生じている。 ◇ 引き続き、生徒・保護者に「弁当の日」の発達段階に応じた具体的な到達目標の設定と家庭への啓発を行い、年間4回の弁当の日を主体的、計画的に指導、実施できるようにしていく。</p>	3.2	3.4	○弁当の日の取組については、保護者と生徒との認識に大きなずれが生じていたということであったが、引き続き地道な指導をお願いしたい。
その他	<p>重点目標： 保護者や永久津小学校、地域との連携の推進</p> <p>手段： 1 小中合同による研修や合同行事の充実。 2 学校の情報発信。 3 効率的な業務の推進を図る。</p>	<p>1について ○ 小中合同の職員会や研修を実施したことで、円滑に合同行事計画の全実施ができた。 ◇ 令和7年度の永久津中学校区学力向上合指定校研究公開に向けて、職員会や研修会の充実を図る</p> <p>2について ○ 学校だよりや学級通信等の定期的な発行、ホームページの更新を通して、積極的に外部への情報発信ができた。 ◇ 今後も積極的に学校情報公開を進めていく。</p> <p>3について ○ 目標の月当たりの時間外勤務時間80時間以上の職員ゼロを達成できた。 ◇ 今後は、45時間以上の職員ゼロを目指して、働き方改革を推進していく。</p>	3.7	3.6	○コロナ禍の中で、地域の活動も思うような活動ができていない中で、学校内では、ある程度できたのではないかと思います。 次年度は、すべての地域行事が計画通りできるように願っています。地域との連携も引き続きお願いしたいと思います。

次年度の方 性について の 校長所見	<p>コロナ禍の中で、学校行事等制限されたものもあったが、保護者をはじめ、地域の皆様や関係諸機関の御支援、御協力をいただきながらできることに取り組み、永久津中学校の教育目標及び学校経営ビジョンの実現に向けて教育活動を行うことができた。次年度は、コロナ禍後の学校運営の中で、生徒減少やPTA活動の在り方、ワークライフバランスを踏まえた上で、本校の教育的課題の解決に向けて努めたい。特に、令和7年度の本中学校区の研究公開に向けた、小中合同の学力向上を図るための授業改善、思いやりの心を育みいじめや不登校0に向けた具体的な取組を進めていきたい。</p>
-----------------------------	---